

---

## 第6章 計画推進のために



裏白

## 1 家庭、地域、企業（事業主）の役割

本計画は、子どもたちが健やかに誕生し、げんきに成長していくことのできる社会をめざすための、行政の取組を中心にまとめています。次代の子どもたちを育むことは、子育て家庭のみならず、地域や社会が関わることで、とても大切なことであることを知っていただくことが必要です。

未来を担う子どもたちを育てるためには、社会全体で子育てを支えていくことの必要性を広めるとともに、行政の取組と併せて、家庭や地域、企業（事業主）は次のような役割を担う必要があります。

### ～家庭の方々へ～

子育ての基本は家庭です。乳幼児期の家庭での生活は、その後の子どもの人間形成を大きく左右すると言われています。そのため、子どもに対して、愛情と信頼感を持って子育てを行い、子どもの基本的な生活習慣や自立心を育てることが望まれます。

また、子どもに家庭や社会のルールを身につけさせるとともに、人を思いやる心と道徳心を育てることも大切なことです。

家庭の誰か一人だけが子育てに関わるのではなく、家族みんなで子育てに参加することが重要です。また、子育てに悩みや負担を感じることがあったら、心と身体を休ませることも忘れないでください。

～地域の方々へ～

子どもたちの笑い声や走りまわる姿のある地域には、活気があります。子どもたちが安全に安心して育っていくには、地域の役割がとても大切です。

日常のあいさつや声かけなど、何気ないことから子どもたちとの交流がはじまります。

また、地域の子どもたちと接することの少ない大人にとっては、地域の行事やイベントの開催は、子どもの居場所づくりだけでなく、子どもたちと交流するための良い機会になります。

これらの交流を通して、大人は子どもを知り、子どもは大人を知ることができます。こうして大人と子どもの関係が深まることで、他人の子どもではなく、地域の子どものとして、一人ひとりの大人が意識することで、子どもの見守りができます。

～企業（事業主）の方々へ～

子育てには、職業生活と家庭生活との両立が図れる環境づくりがとても大切です。

100年に一度と言われる、厳しい経済不況のなかで非常に困難な課題ですが、未来の日本を担う子どもたちを育てるという観点から、是非取り組んでいただきたい課題です。まずは、経営者、就労者、双方が「子育て」の理解を深め、共通の認識を持つことからはじめ、環境づくりの第一歩を踏み出してください。

また、学校の教育現場では体験することのできない、就労や社会の仕組みを学ぶための職場体験や見学を受け入れることも、とても有意義な「子育て」だと言えるでしょう。

地域に根差す企業として、地元地域との関わりを意識しつつ、地域の子どもたちにも関心を持っていただくことが望まれます。

## 2 関係団体・機関との連携

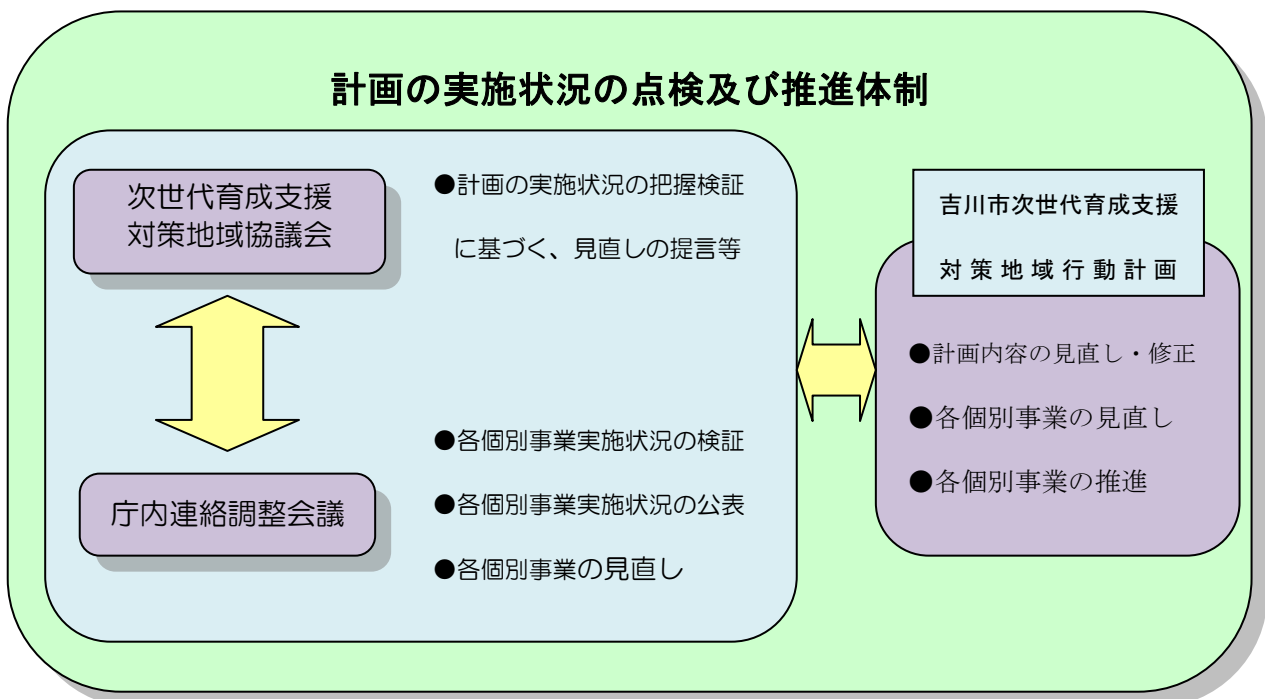
すべての子どもと家庭への支援という観点から対策を進めるために、市が行う行政サービスと併せて、市民、子育て活動を行うNPO、子育てサークル、自治会などの各種団体との連携・協働を進めていきます。

さらに、児童相談所、保健所、教育機関、警察、社会福祉協議会などの関係機関や、民生委員・児童委員、主任児童委員の方々との連携強化を進め、この計画を推進します。

## 3 事業の進捗状況の把握及び報告・公表

この計画を推進するにあたり、庁内関係部署からなる連絡調整会議を設置し、この計画で掲げた事業の実績や進捗状況を把握・点検・評価するとともに内部調整を行うなど、庁内の推進体制の整備を行います。

また、次世代育成支援対策地域協議会を開催し、本計画の進捗状況等について定期的に検証するとともに、その内容を公表します。



裏白



